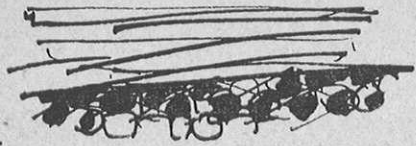


河川改修を大中に



☆ 治水事業10カ年計画のあらまし

本県の治水事業は防災上や産業発展の基礎強化という点から、まだ十分とはいえません。昨年来襲した伊勢湾台風の大災害をかえりみても、海岸堤防の保全や河川対策も大中におし進めなければならぬ現況です。

まず中小河川改修事業治水十カ年計画は、前期五カ年計画で黒川、采切浦川、佐敷川、合志川、加勢川、坪井川、吉田川、浜戸川、井芹川、氷川の十河川、後期五カ年計画に、天明新川、井の口川、十町川、水無川（八代）の四河川をそれぞれとりあげ計画しています。特に前期五カ年では三十四年度まで継続実施している七河川について優先的に計画し、三十五年度新規事業として熊本平野の南部一帯に常時氾濫被害を与えている緑川左

支川浜戸川が着工の運びになりました。三十七年度には坪井川改修と不可分の関係にあり、熊本市に七、二六水害で大災害を与えた井芹川改修を計画、又三十九年には氷川を計画しています。中小河川改修事業費七十七億のうち前期五カ年で一〇、四％、十カ年において二七％の進捗率になっています。小規模河川改修事業は三十四年度から新項目の予算として計上された事業で本県においても八間川、行末川を現在行っ

(直轄事業)				(補助事業)			
球	菊	白	区	球	菊	白	区
計	磨	池	分	計	磨	池	分
二、五五〇、〇〇〇	五五〇、〇〇〇	七七〇、〇〇〇	前期五カ年計画事業費	二、六〇〇、二〇〇	一、二〇八、二〇〇	二、二八、〇〇〇	前期五カ年計画事業費
七、七四〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	二、九六〇、〇〇〇	三十五年計画事業費	六、三七四、二〇〇	二、九三四、二〇〇	五二四、〇〇〇	三十五年計画事業費
		三、四八〇、〇〇〇				八〇七、〇〇〇	
		一、二三〇、〇〇〇				二、一一九、〇〇〇	

(千円)

戦時中の山林の乱伐や開墾などが原因して河川の災害は年々増加しています。これに対して建設省では、治山治水事業を根本的におし進めるため、治水五カ年

計画を三十五年度から大布に実施することになりました。本県でもこの五カ年計画に基いて次のような治水事業を計画しています。



今日も作業は予定どおりすんだ……記録簿へ記入する田上さん



道路標識がみえるように路の手入れだけでなく、通行を邪魔する障害物はキレイに取りはられる



七つ道具をかついで今日も仕事場へ……田上さんの受持ちは県道（津留一柳線）15キロ

道路を守る陰の働き手それが路線職員です。雨の日も、日照りの夏もわが家の庭のごとくたゞ道路の手入れに余念がない。



田上未義さんは阿蘇一の宮土木事務所高森駐在所に勤務し、もう10年にもなつた。



「やア今日はノ」バスの乗務員とも顔なじみになつている

↓ 有名な高森峠の向うに阿蘇五岳がかすんでみえる……



(河港課)